

商業科教育法I

単位数		ナンバリングコード	
2		DTP278	
 	教員名	田中 修一	
	専門		
	出身校等	小樽商科大学	
	現職	北海道情報大学 非常勤講師	
授業形態			
前期印刷授業・後期印刷授業			
授業範囲		試験範囲	
教科書を基に、講義ごとの学習用プリントにある演習問題に取り組みます。		講義範囲全てから出題：教科書、学習用プリント演習問題 【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く）と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要			
<p>商業科教育法Iでは、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説商業編（以下、商業編という）を中心に、商業科教育論（実教出版）も教材として商業の各科目の目標を踏まえ、実践的・体系的な学習指導について理解を深めます。</p> <p>さらに、商業科教員として基本となる教科指導法や教材研究、授業改善、評価方法の在り方を学び、実践的指導力の基礎づくりを目指します。</p>			
授業における学修の到達目標			
<p>商業科教員として、商業編に示された教科「商業」の目標や科目構成、学習内容について体系的・系統的に理解を深めるとともに実践的指導力の基礎づくりを目指します。</p> <p>具体的には、教科指導法や教材研究、授業改善、評価方法等に関連する技術を身に付け、実践できることを目標とします。</p>			
講義の方針・計画			
第1講	商業編を読み解く－1	◇商業編 第1章 総説	○演習問題I－1
第2講	商業編の趣旨を踏まえた新たな商業教育への研究提言（改善と充実）－1		○演習問題I－2
第3講	商業編の趣旨を踏まえた新たな商業教育への研究提言（改善と充実）－2		○演習問題I－3
第4講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－1	◇基礎的科目に関する学習内容と学習指導のまとめ	○演習問題I－4
第5講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－2	◇総合的科目に関する学習内容と学習指導のまとめ	○演習問題I－5
第6講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－3		○演習問題I－6
第7講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－4		○演習問題I－7
第8講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－5		○演習問題I－8
第9講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－6		○演習問題I－9

講義の方針・計画		
第10講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－7	○演習問題Ⅰ－10
第11講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－8	○演習問題Ⅰ－11
第12講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－9	○演習問題Ⅰ－12
第13講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－10	○演習問題Ⅰ－13
第14講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－11	○演習問題Ⅰ－14
第15講	商業科の各科目に関する学習内容の理解と実践的指導力の向上－12	○演習問題Ⅰ－15
準備学習		
教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めます。教科書範囲の内容と併せ、学習用プリントの内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索し、事前に学習することが準備学習として必要になります。		
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法		
提出されたレポートについて講評を付与して返却します。		
成績評価の方法およびその基準		
科目試験による評価100%		
教科書		
○教科書1 書名：21世紀の商業教育を創造する 商業科教育論 (2019/10/15) 著者名：日本商業教育学会 発行所：実教出版 ISBN：978-4-407-34457-8		
○教科書2 【以下の学習指導要領解説のPDFデータを、文部科学省のホームページからダウンロードしてください。】 高等学校学習指導要領（平成30年度告示）解説 商業編 https://www.mext.go.jp/content/1407073_15_1_1_2.pdf (なお、上記の学習指導要領解説は、書籍としても刊行されています。冊子版をご希望の方は各自でご購入ください。) 書名：高等学校学習指導要領（平成30年度告示）解説 商業編 (2019/3/10発行) 著者名：文部科学省 発行所：実教出版 ISBN：978-4-407-34863-7		
参考書		
特になし		
その他		
教科書1は、履修者は購入すること。 教科書2は、購入または文部科学省Webページからダウンロード（無料）しても良い。 商業科教育法Ⅰでは、教科書1と教科書2を併用して使用します（商業科教育法Ⅱでも使用する）。		
試験期間		
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2026学年暦」を参照		
学習プリント		
あり		

教職科目

商業5の1（必修）、商業6の4

関連受講科目

商業科教育法Ⅱ

担当教員の実務経験

公立高校定時制勤務からスタートし、8間口以上の大規模併置校2校、行政職、8間口商業単置校1校を歴任する中で、商業科教員として教材開発や授業評価等の研究を実際の授業で活かすとともに、担任として延べ27年に渡り、生徒指導や進路指導を実践的に取り組んできた。

また、教育実習生を受け入れる際には率先して指導教官を引き受け、授業評価並びに授業改善のアドバイスをを行い、現職教員となった卒業生徒も多数輩出してきた。

本講義では高校の教育現場での指導経験を活かし、年間を見通した授業計画、教材研究の重要性、授業評価の必要性等を履修学生と共に研究を進め、指導技術と教科指導力のスキルアップを支援する教育を実施する。